

## 子どもに関する実態・意識調査の結果について（補足資料）

## 【調査結果概要】

## ○ 調査期間

平成22年3月1日(月)～17日(水)

## ○ 回答結果

【小学生用】	1,596	通発送	748	通回答	(回答率	46.9%	)
【中学生～18歳用】	3,404	通発送	1,128	通回答	(回答率	33.1%	)
【大人用】	5,000	通発送	1,970	通回答	(回答率	39.4%	)
合 計	10,000	通発送	3,846	通回答	(回答率	38.5%	)

## 【大人用調査項目関係】

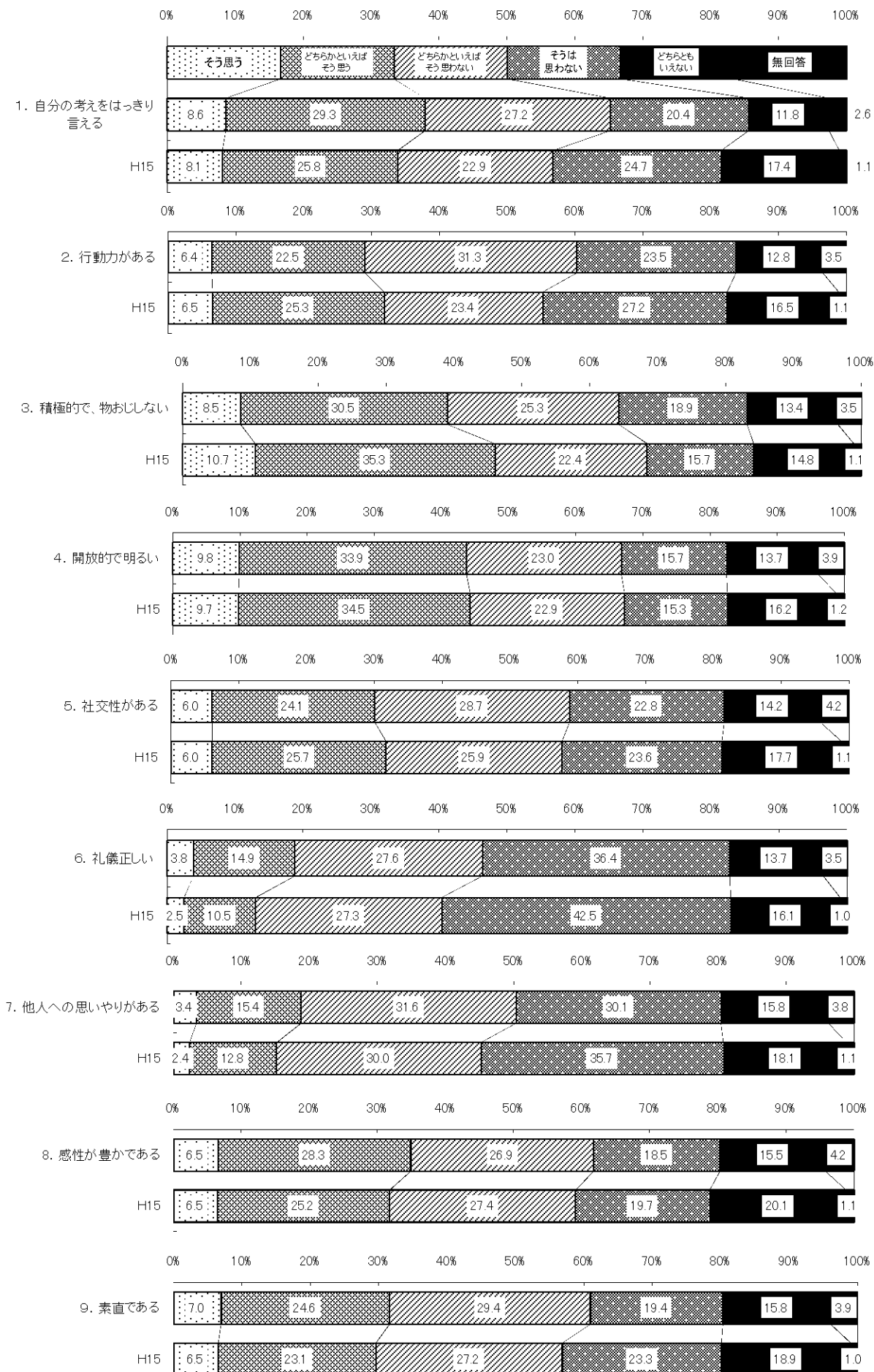
ページ	設問番号	内 容
1-2	問 3	今の子どもに対する印象(前回との比較あり)
3-4	問8	今の子どもを取り巻く環境についての印象(前回との比較あり)
5	問 10	子どもが意見を言ったり参加したりすることについてどう考えるか(総括表)
6	問 11	近所の子どもとのかかわりの有無(前回との比較あり)
6	問 13	子どもが健やかに育つために大切だと思うこと(前回との比較あり)
7	問 16	今の子どもが学校や家庭生活以外で体験してほしいこと(前回との比較あり)
8	問 21	子どもの権利条例を知っているか(子ども向け含む総括、前回との比較あり)
9	問 22	条例に定める権利が守られているか(総括表)
10	〃	条例に定める権利が守られているか(子どもとの比較あり)

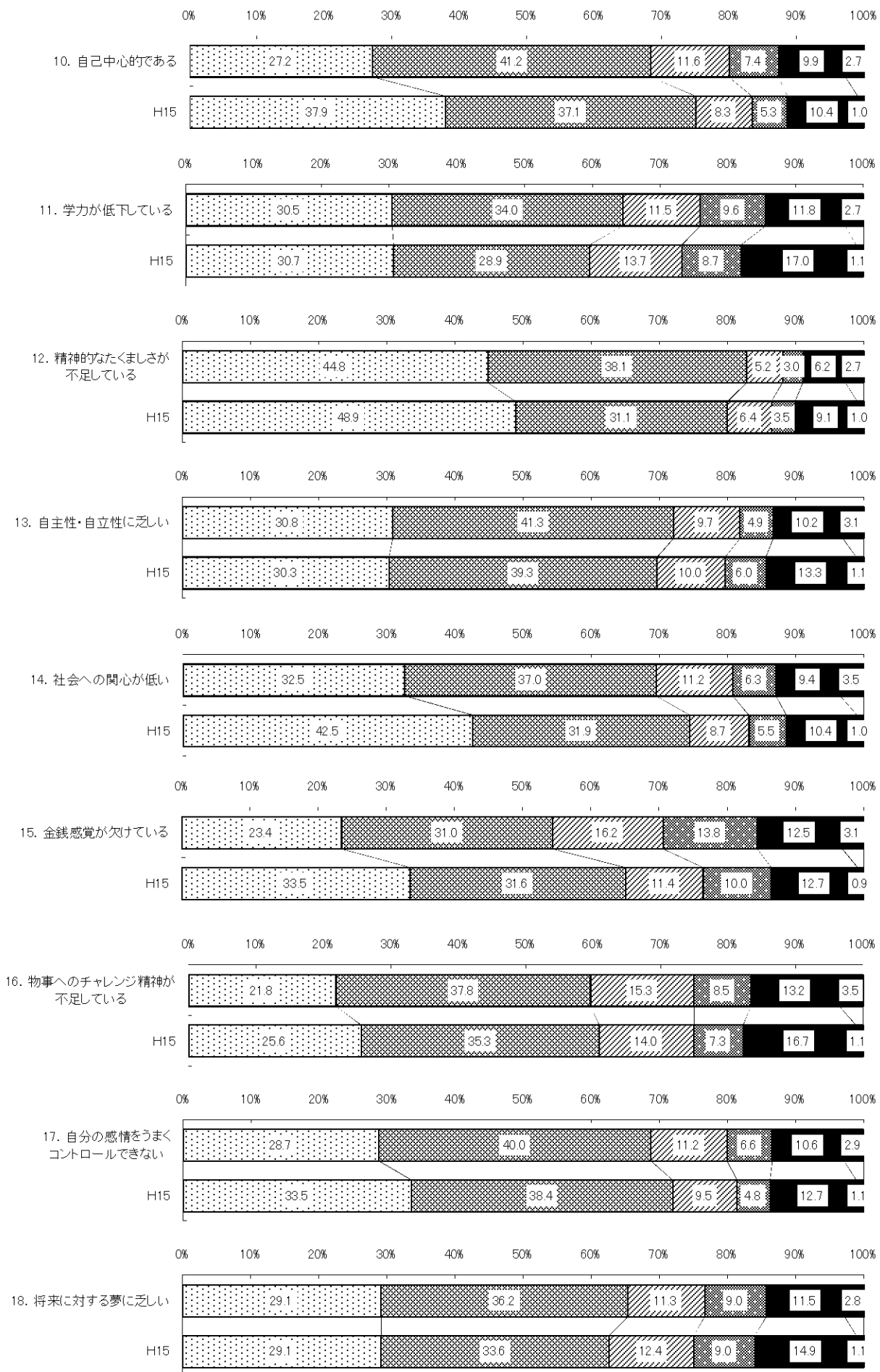
## 【子ども用調査項目関係】

ページ	設問番号	内 容
11	問6	自分のことをどう思うか(総括表)
12	問7	熱中したり夢中になれるのはどんなときか(前回との比較あり)
13	問 9	これまで体験したこと(前回との比較あり)
14	問 10	最近1年間、地域での参加や活動をしたことがあるか(前回との比較あり)
15	問 17	あなたと話をするときの保護者の態度(総括表、前回との比較あり)
16	問 25	自分の考えや思いがあるときに、それを言うことができるか(総括表)

■今の子ども「小・中・高校生」に対する印象

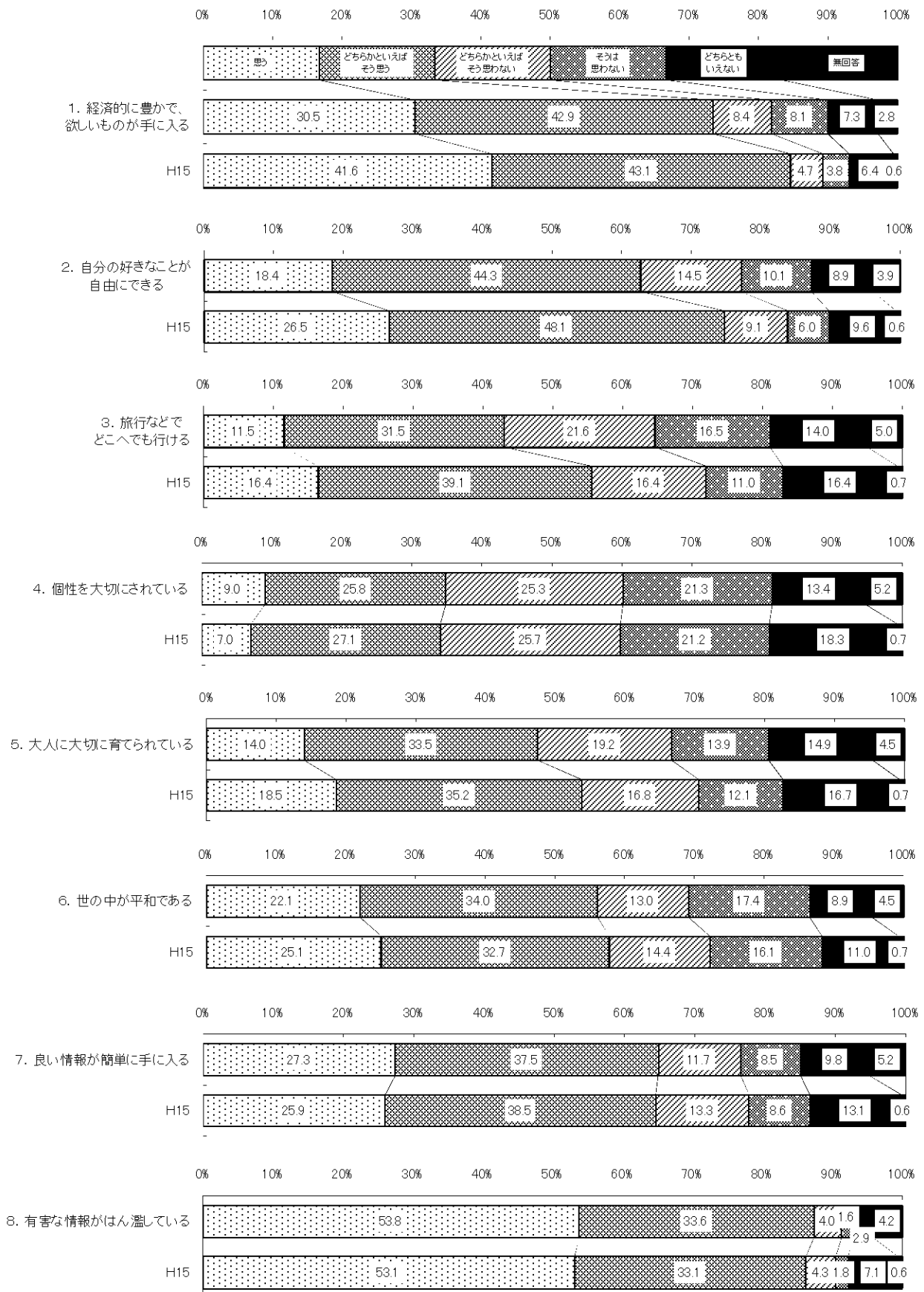
問3 あなたは、今の子ども(小・中・高校生)に対してどのような印象をお持ちですか。  
次の1~18のそれぞれの項目について、お考えに最も近いものの番号に○をつけてください。

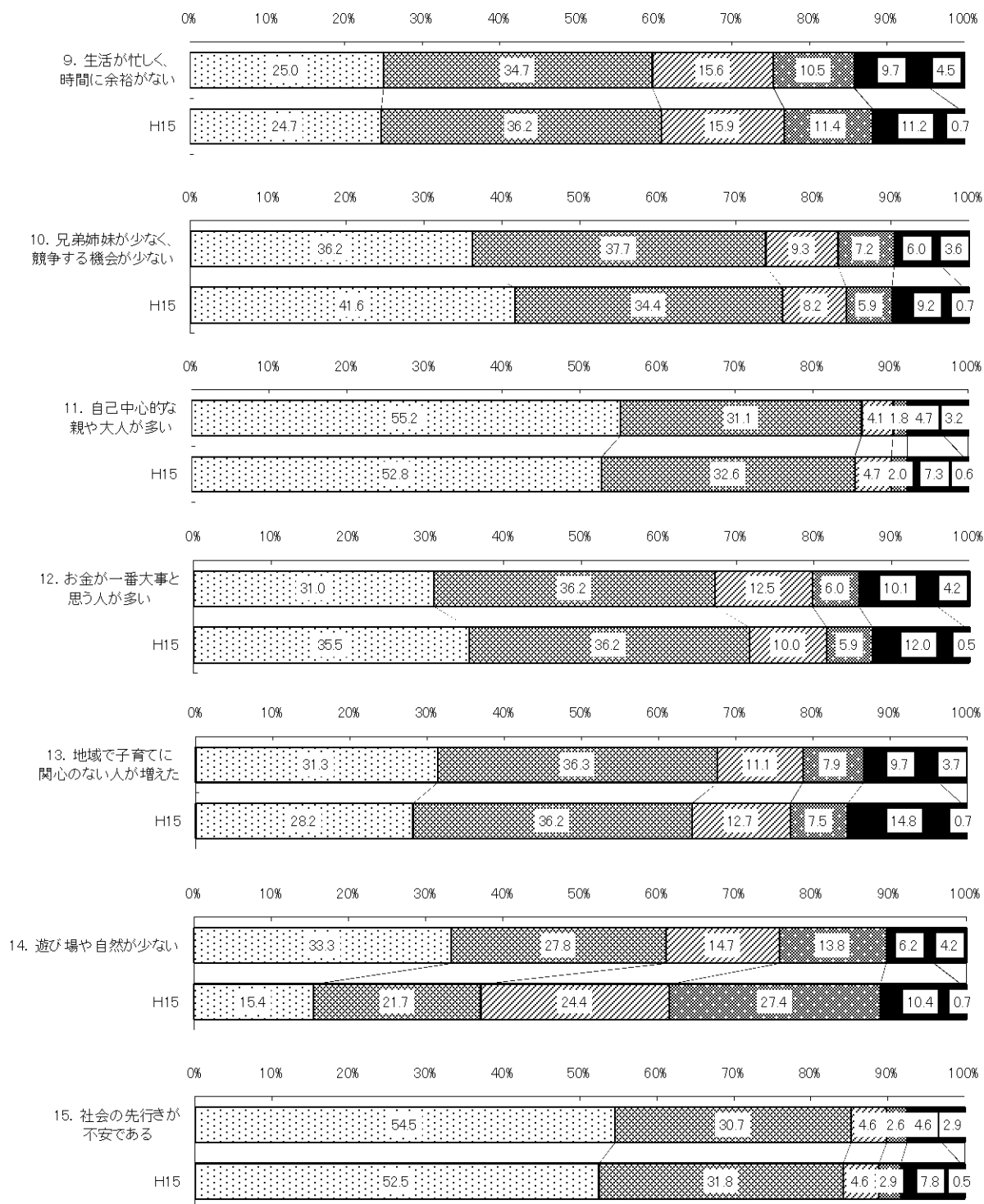




■今の子ども「小・中・高校生」を取り巻く環境についての印象

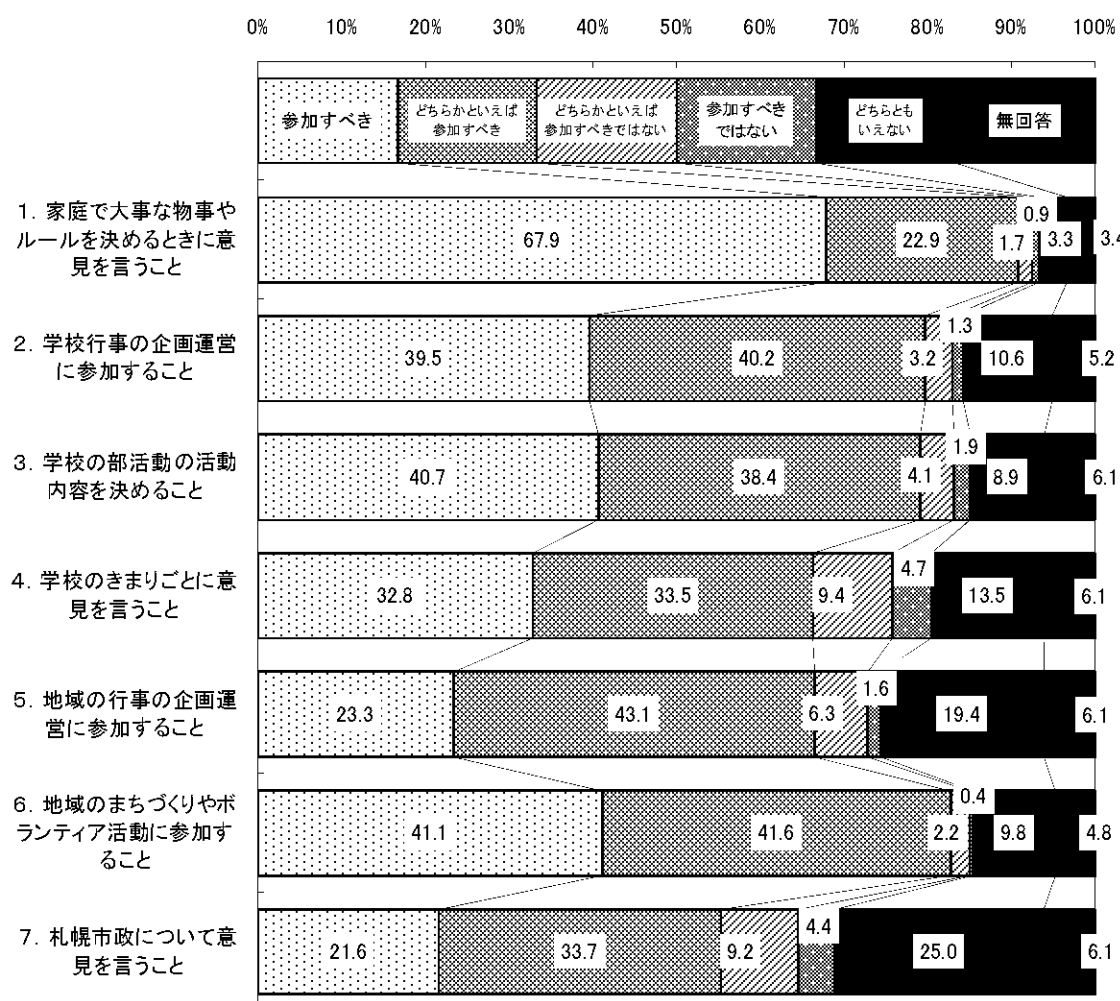
問8 あなたは、今の子ども（小・中・高校生）を取り巻く環境についてどのような印象をお持ちですか。次の1から15のそれぞれの項目について、お考えに最も近いものの番号に○をつけてください。





## ■子どもが意見を言ったり参加したりすることについてどう考えるか

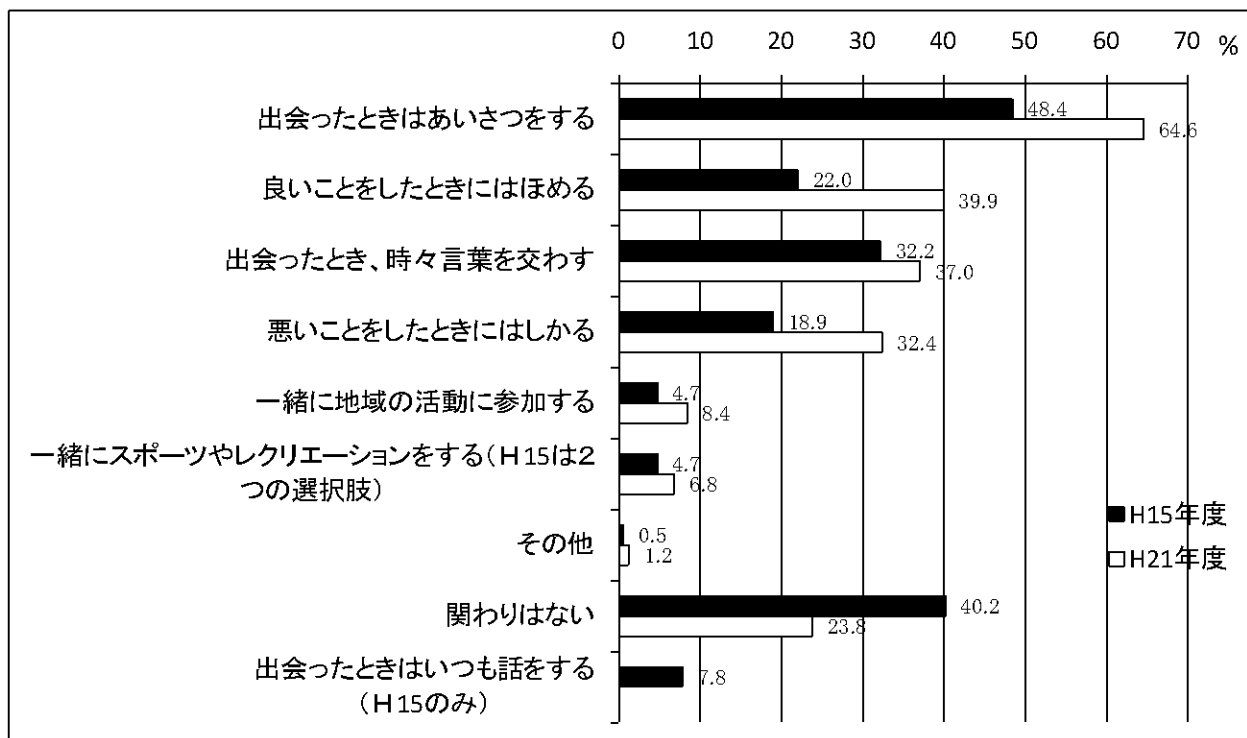
問10 あなたは、次の1から7のそれぞれの項目について、子どもが自分の考えを言うなど、物事を決めることや取組に参加することについて、どのように思いますか。それぞれの項目について、お考えに最も近いものの番号に○をつけてください。



『すべき』が最も高い項目は、「1. 家庭で大事な物事やルールを決めるときに意見を言うこと」で90.8%と9割を超える。次いで、「6. 地域のまちづくりやボランティア活動に参加すること」82.7%、「2. 学校行事の企画運営に参加すること」79.7%。反対に低い項目は、「7. 札幌市政について意見を言うこと」55.3%、「4. 学校のきまりごとに意見を言うこと」66.3%。

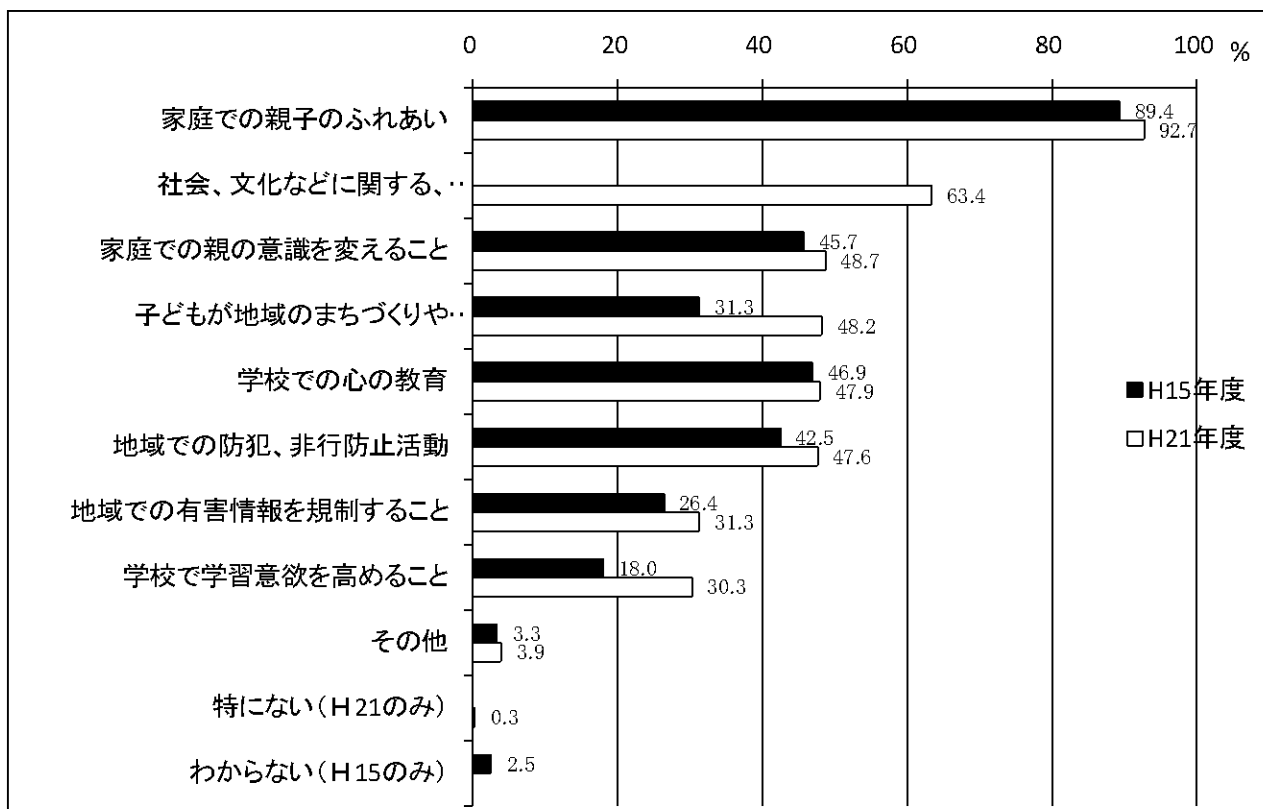
## ■近所の子どもとのかかわりの有無

問11 あなたは、ふだんの生活の中で、周囲の子どもと関わりがありますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。



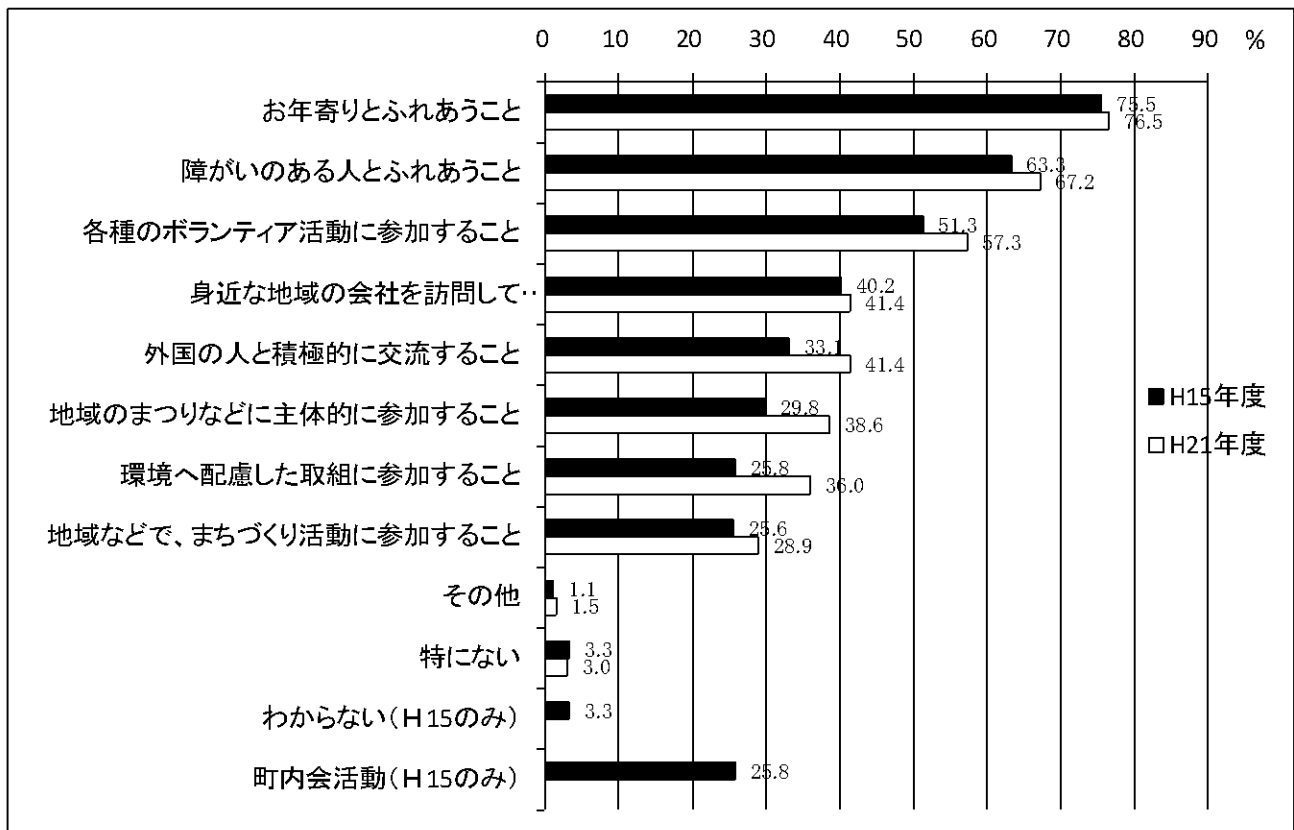
## ■子どもが健やかに育つために必要だと思うこと

問13 子どもが健やかに育つために、あなたが必要だと思うものがありますか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



■今の子どもが学校や家庭以外の社会生活で体験してほしいこと

問16あなたは、今の子どもが学校や家庭以外の社会生活で体験してほしいと思うことがありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

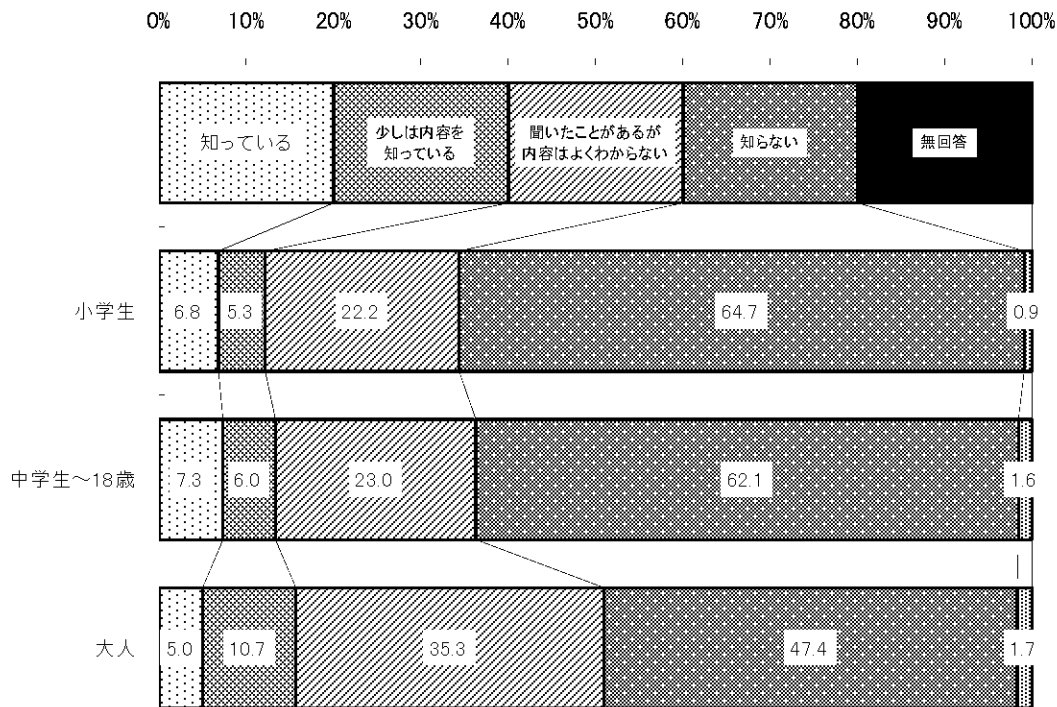




## ■子どもの権利条例を知っているか

問21 札幌市では、子どもの権利の保障を、市及び市民が一体となって進めていくために、「子どもの権利条例」を制定しています。

あなたは、子どもの権利条例について知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。



「知っている」「少しは内容を知っている」「聞いたことがあるが内容はよくわからない」をあわせて『少なくとも聞いたことがある』割合は、小学生が34.3%、中学生～18歳は36.3%、大人は51%となっている。子どもは「知らない」割合が6割を超えており、『少なくとも聞いたことがある』割合よりも多い。大人は、「知らない」割合が5割を下回り、『少なくとも聞いたことがある』のほうがやや上回る。

### 【参考】

#### ■ 条約認知度調査について

①平成19年7月～8月「札幌市子どもの安心と救済に関する実態・意識調査」

	調査数	知っている	聞いたことがあるが、内容はよくわからない	知らない	無回答
大人	1,468人	16.1%	47.3%	30.9%	5.7%
子ども	1,313人	39.8%	33.7%	25.3%	1.1%
合計	2,781人	27.3%	40.9%	28.2%	3.6%

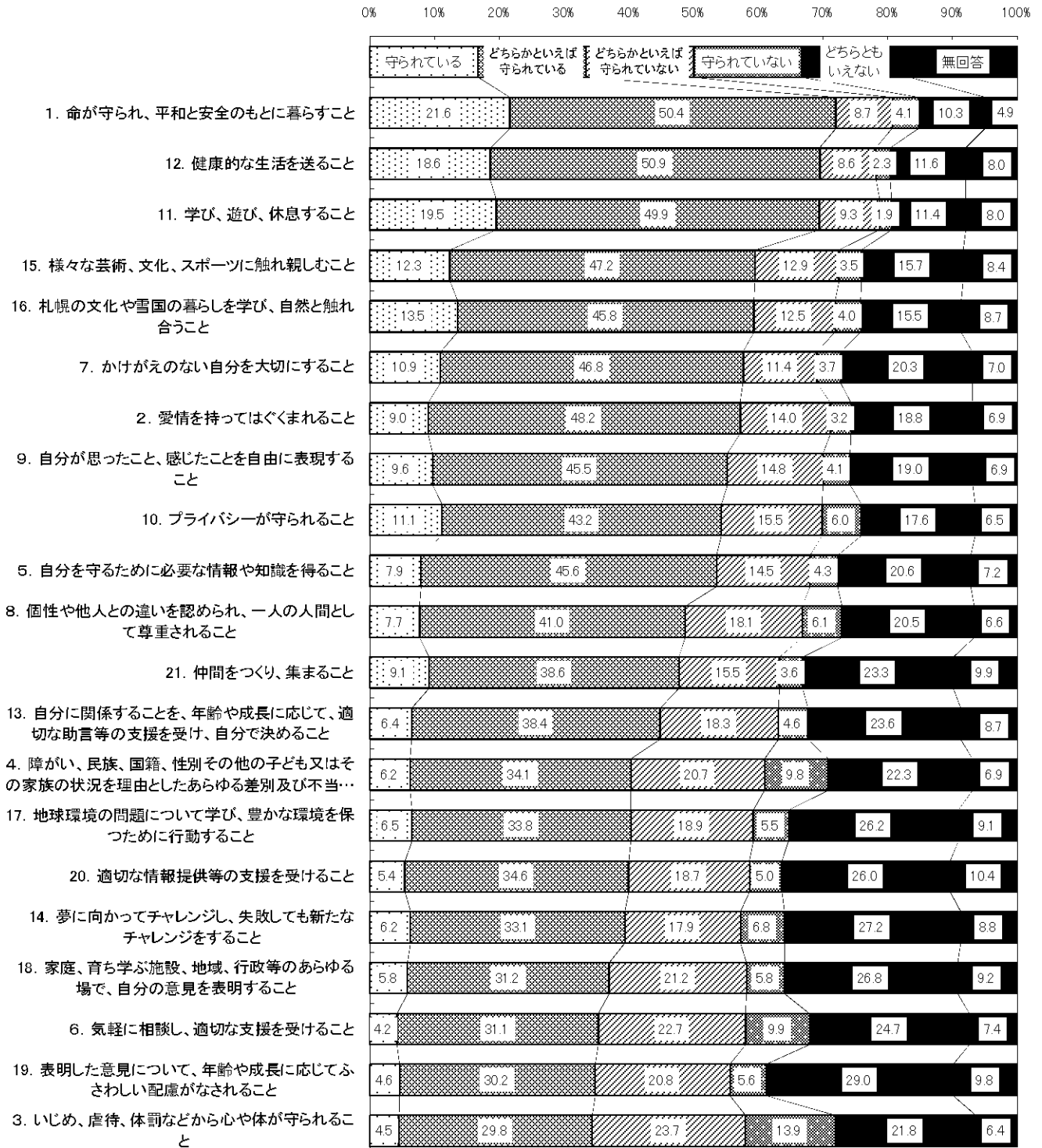
\* 大人（18歳以上）、子ども（11歳～17歳）

②平成16年1月「市政世論調査」

	調査数	知っている	聞いたことがあるが、内容はよくわからない	知らない	無回答
大人	1,225人	14.3%	38.1%	47.5%	0.1%

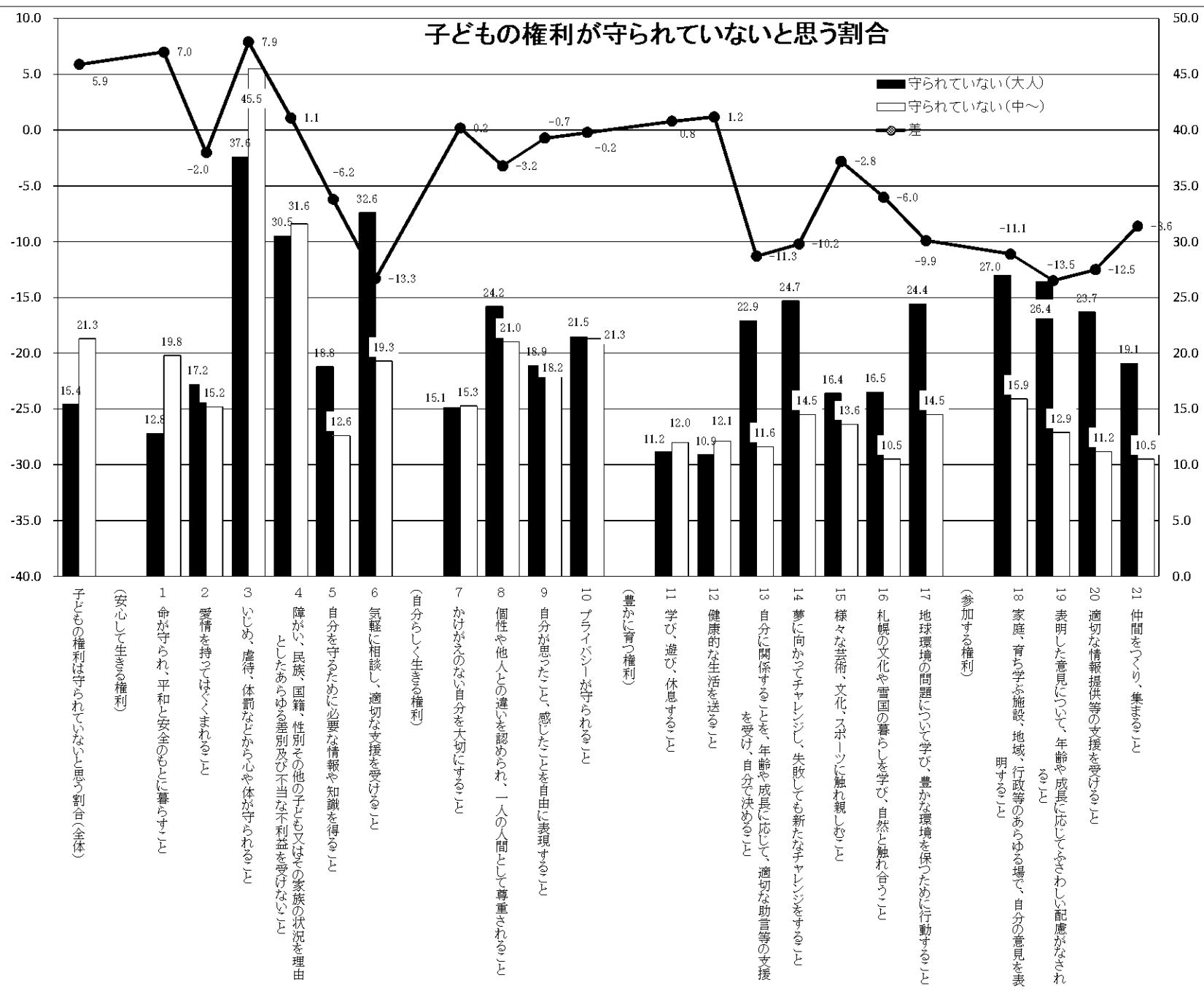
## ■ 条例に定められている権利が守られているか

問22 札幌市の子どもの権利条例では、札幌の子どもがのびのびと過ごし、自立した社会性のある大人へと成長するために、特に大切であると考えられる、21の子どもの権利が定められています。あなたは、ふだんの生活の中で、子どもの権利が守られていると思いますか。それぞれの項目について、お考えに最も近いものの番号に○をつけてください。



『いる』が最も高かったのは、「1. 命が守られ、平和と安全のもとに暮らすこと」72.0%、次いで、「12. 健康的な生活を送ること」69.5%、「11. 学び、遊び、休息すること」69.4%である。反対に、最も低かったのは、「3. いじめ、虐待、体罰などから心や体が守られること」で、34.3%、次いで、「19. 表明した意見について、年齢や成長に応じてふさわしい配慮がなされること」34.8%、「6. 気軽に相談し、適切な支援を受けること」35.3%の順である。

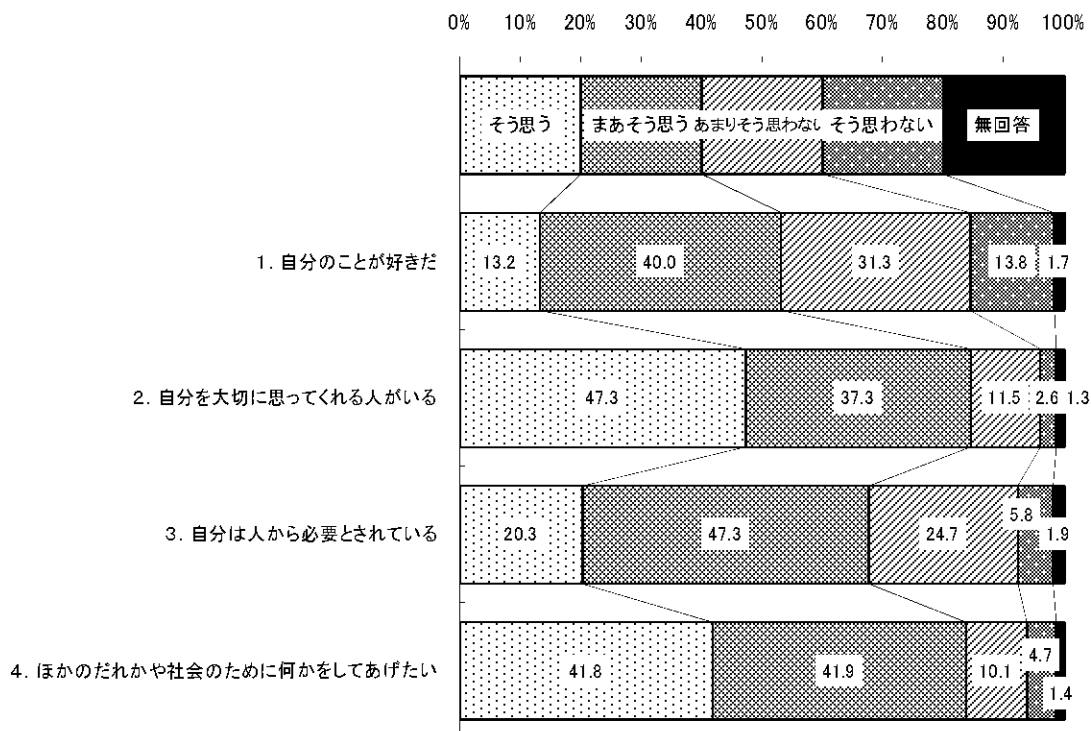
# 子どもの権利が守られていないと思う割合



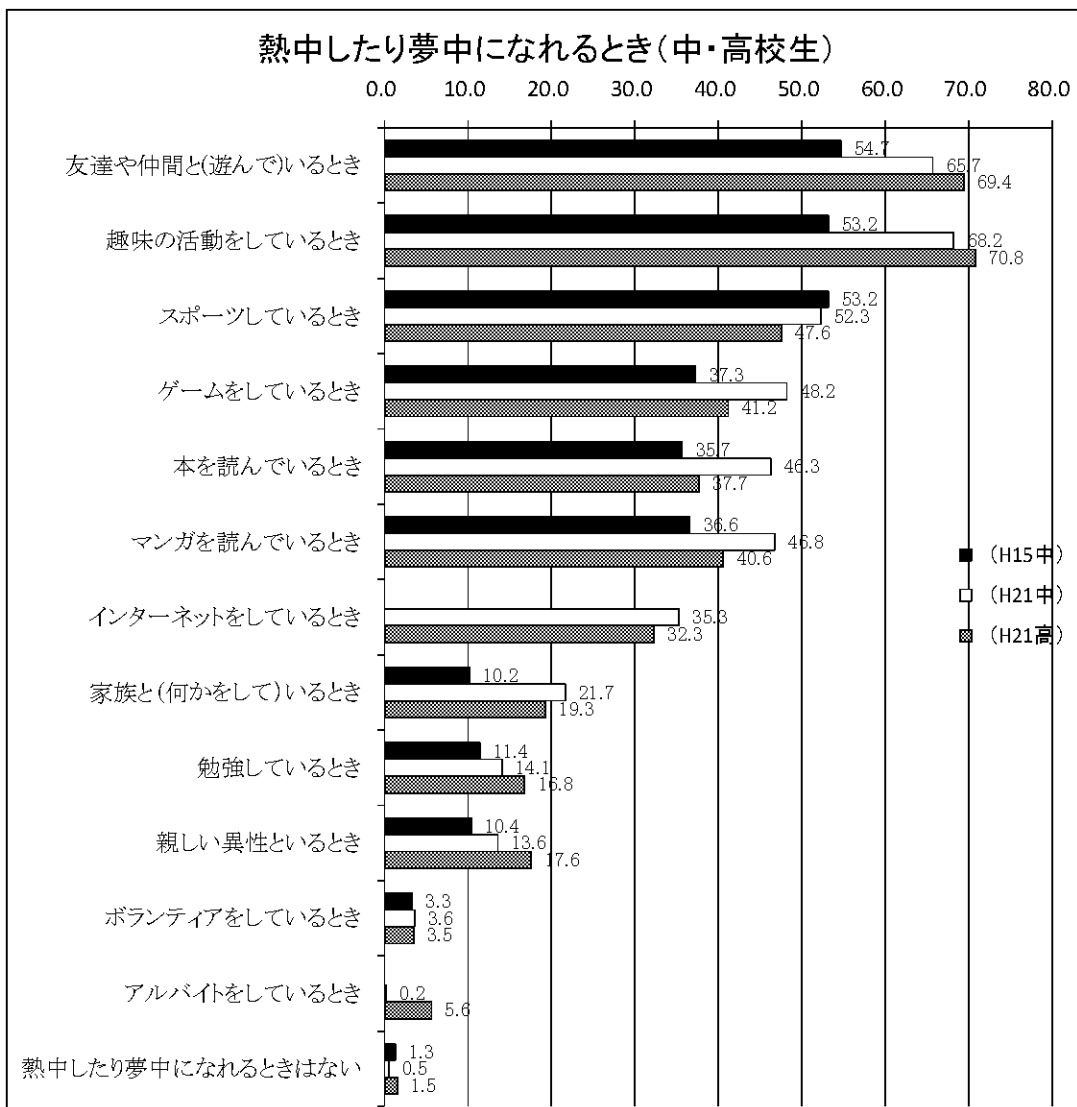
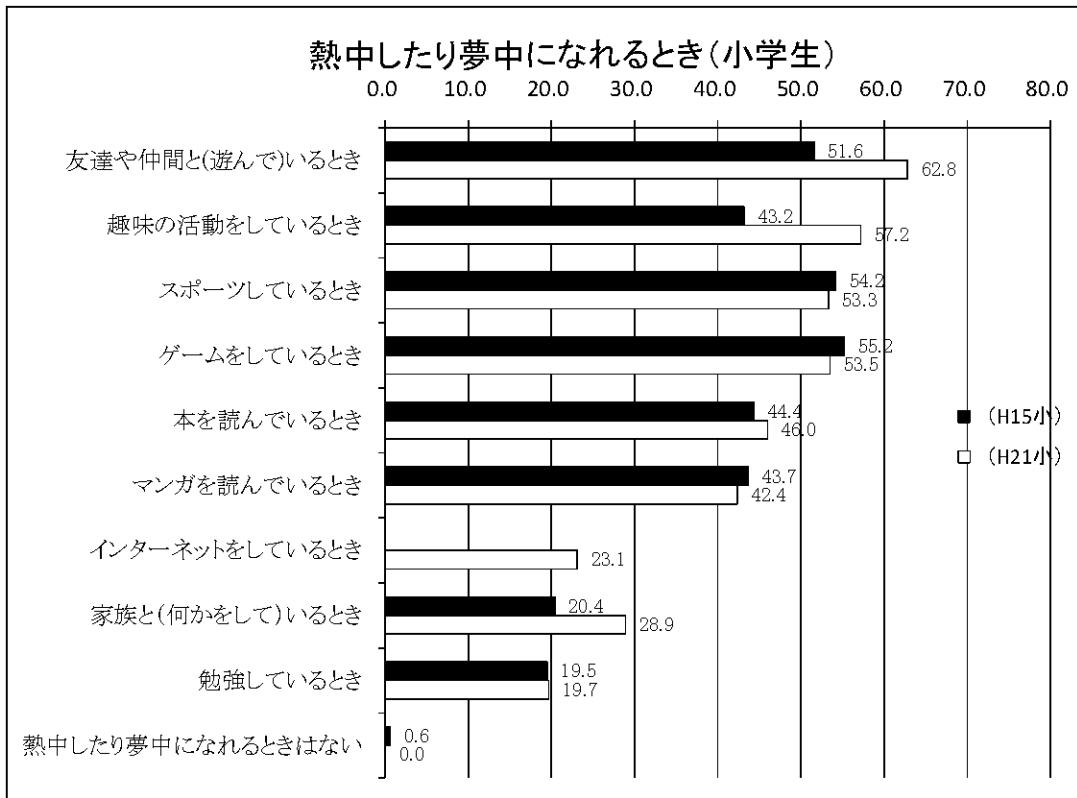
## ■自分のことをどう思うか

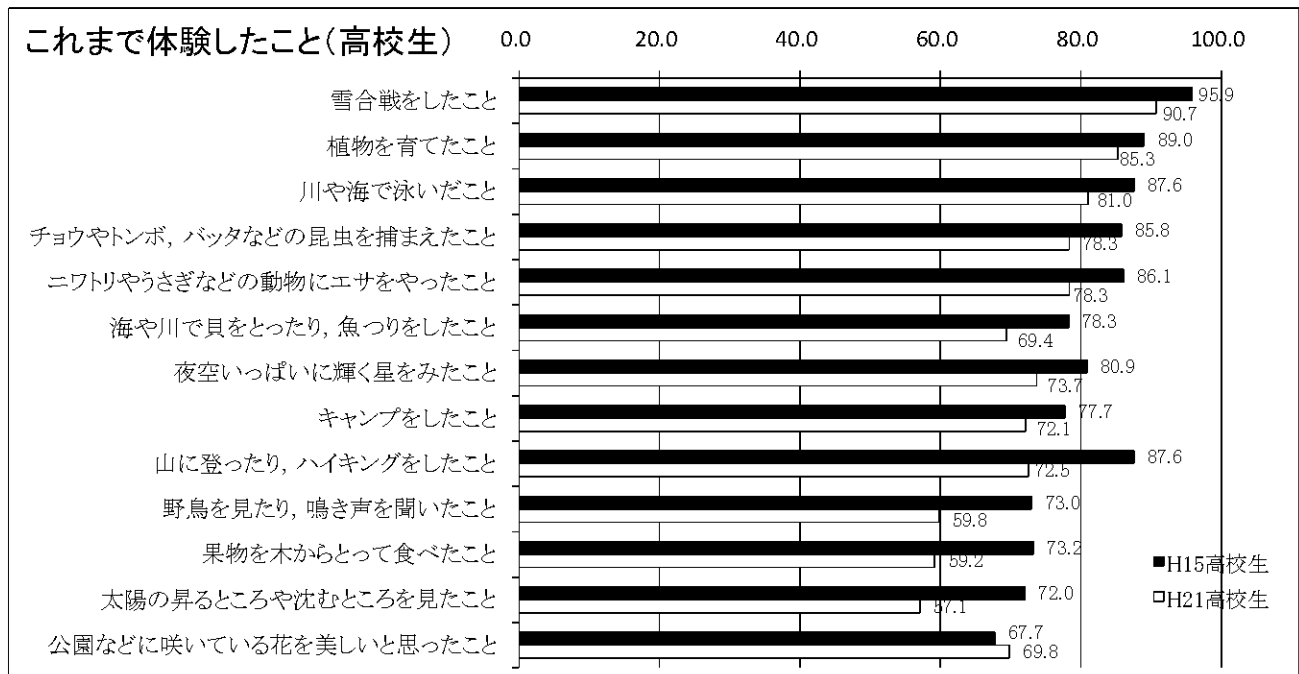
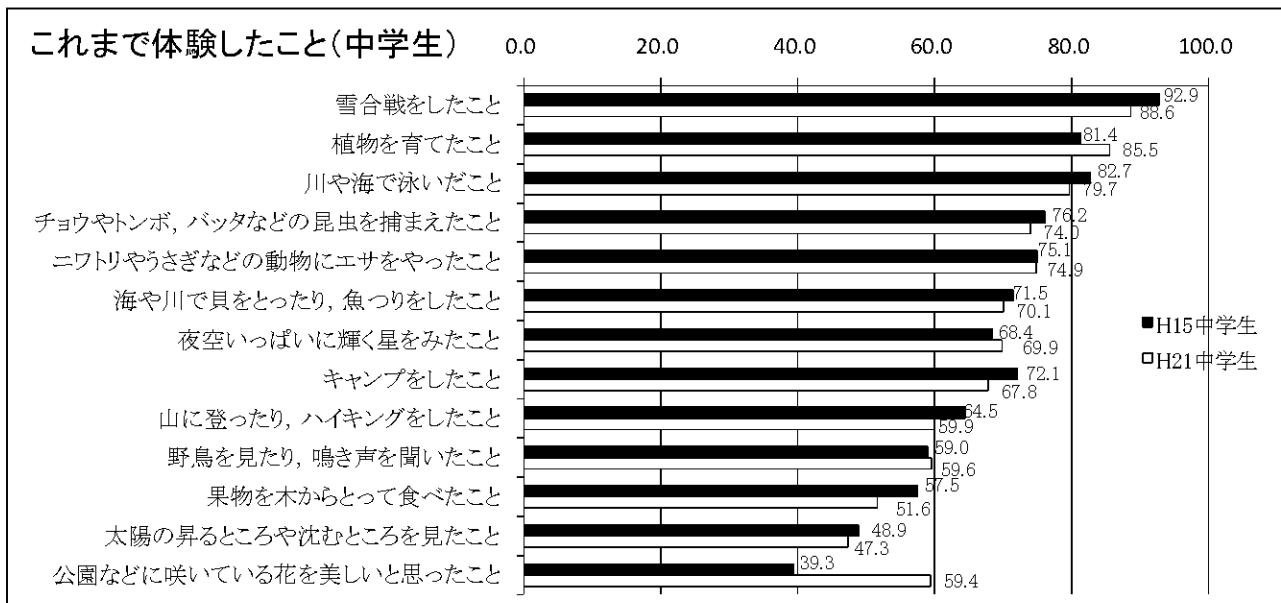
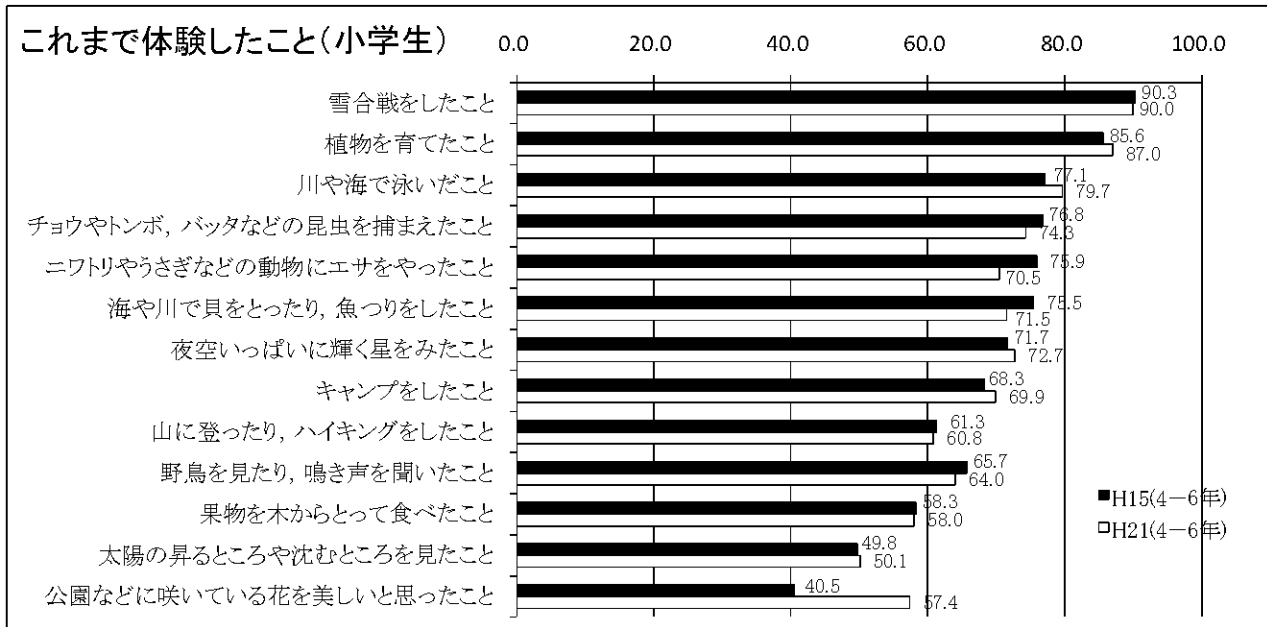
【中学生以上】（小学生：設問なし）

問6 あなたは、自分自身のことについて、どのように思っていますか。  
それぞれ、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

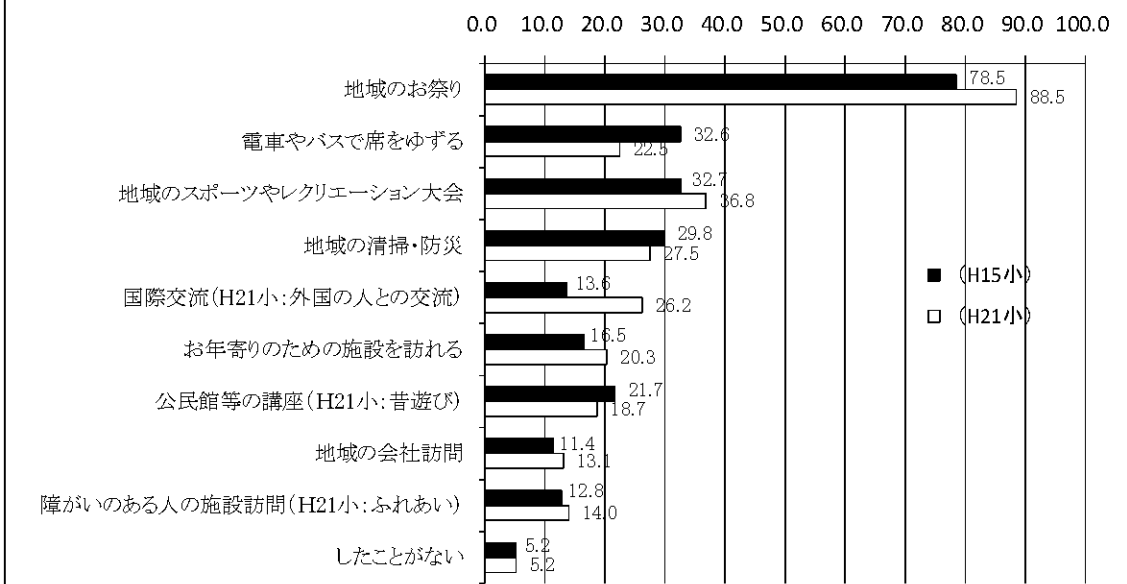


「1. 自分のことが好きだ」については、『思う』が53.2%、『思わない』が45.1%で、『思う』が上回る。  
 「2. 自分を大切に思ってくれる人がいる」については、『思う』が84.6%と8割を超える。また、4つの項目の中でも『思う』の率が最も高い。  
 「3. 自分は人から必要とされている」については、『思う』が67.6%、『思わない』が14.1%で『思う』が上回る。  
 「4. ほかのだれかや社会のために何かをしてあげたい」については、『思う』が83.7%と8割を超える。

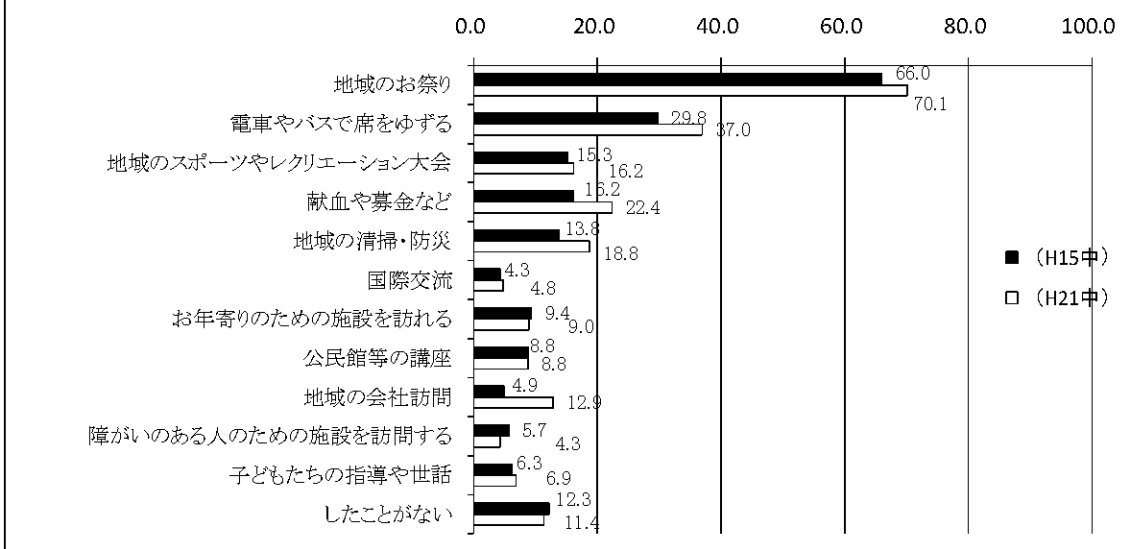




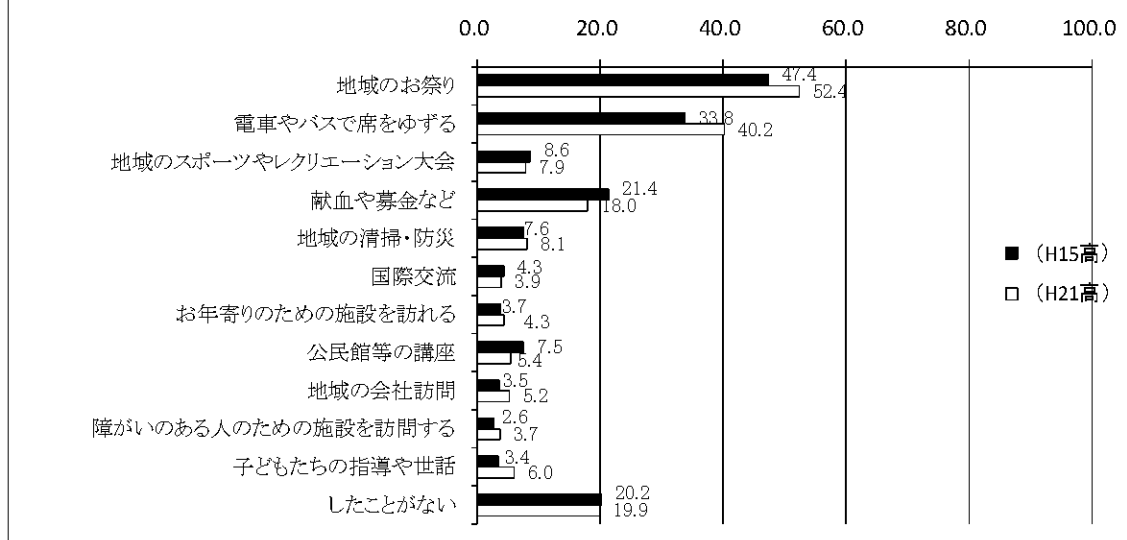
### 1年間の地域での活動経験(小学生)



### 1年間の地域での活動経験(中学生)



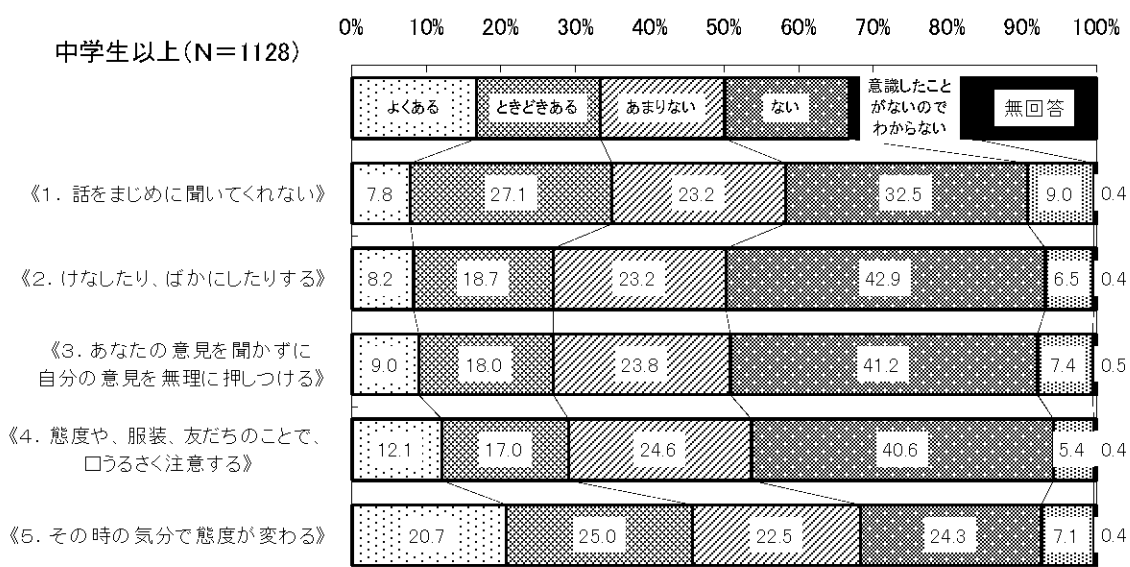
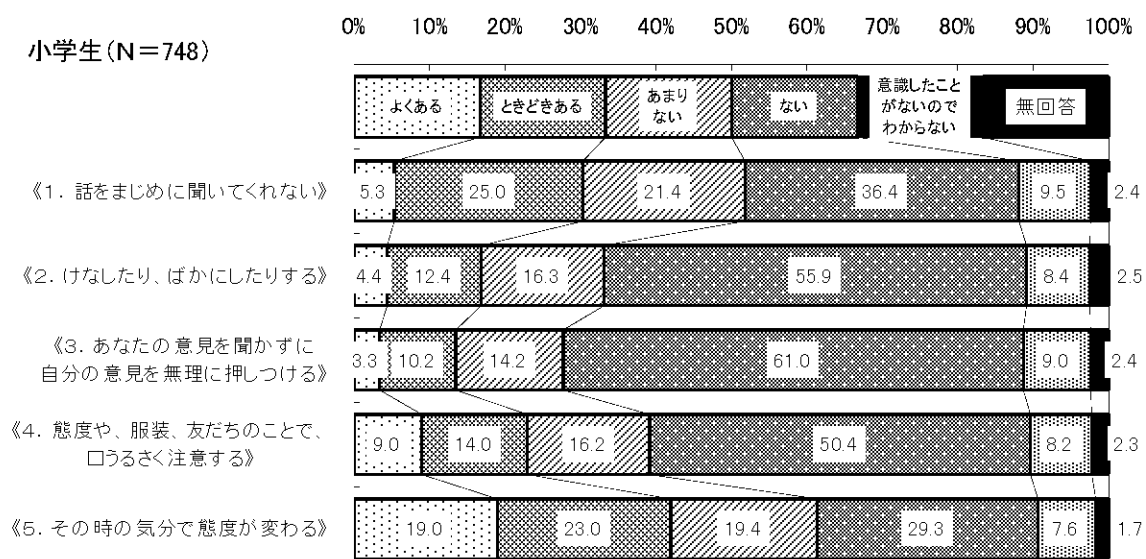
### 1年間の地域での活動経験(高校生)



## ■あなたと話をするときの保護者の態度

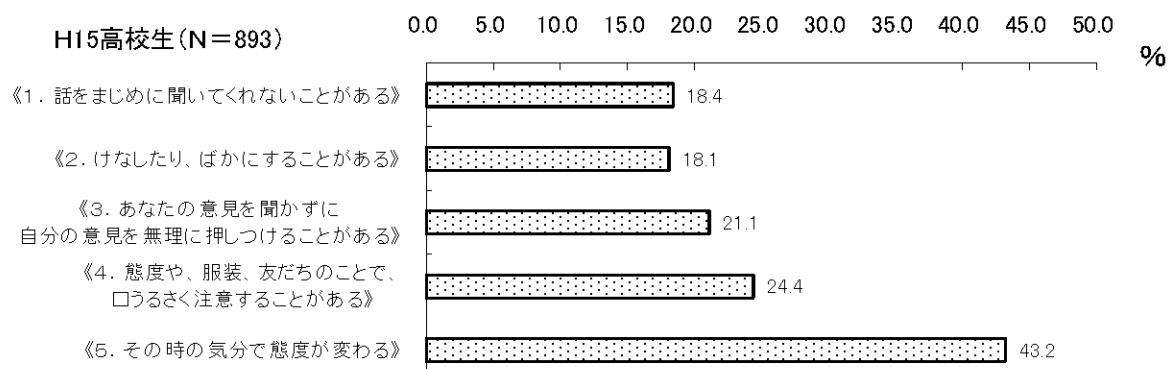
【中学生以上】（小学生：問13で同様の設問）

問17 あなたと保護者が話をするときの保護者の態度について、次のような不満を感じたことがありますか。それぞれ、最も近いものに○をつけてください。



《参考：H15年青少年基本調査

お父さんやお母さんと話をするとき、お父さんやお母さんが次のような態度をするときがあるか

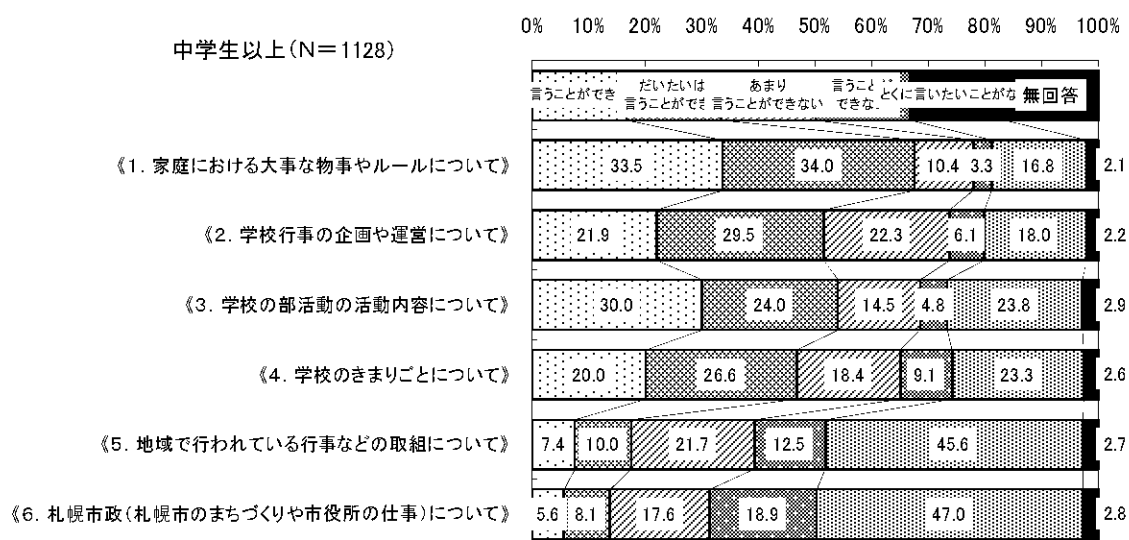
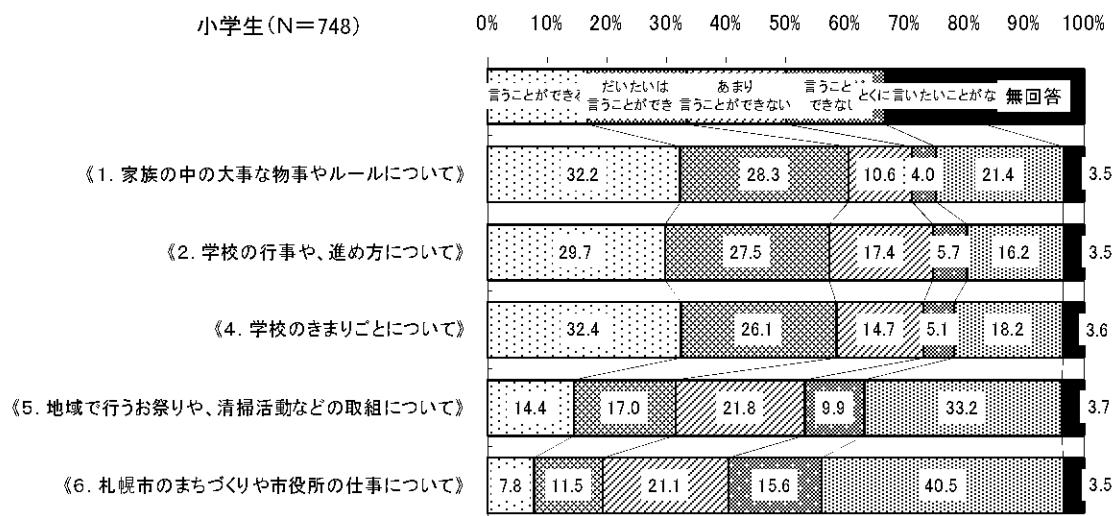




## ■自分の考えや思いがあるときに、それを言うことができるか

【中学生以上】（小学生：問18で同様の設問）

問25 あなたは、次の6つのことについて、自分の考えや思いがあるときに、それを言うことができますか。それぞれ、最も近いものに○をつけてください。



小学生では、『できる』の合計についてみると、「1. 家族の中の大事な物事やルールについて」が最も高く60.5%、以下、「4. 学校のきまりごとについて」が58.5%、「2. 学校の行事や、進め方について」58.2%の順である。最も低いのは、「6. 札幌市のまちづくりや市役所の仕事について」の19.3%である。

中学生では、『できる』の合計についてみると、「1. 家庭における大事な物事やルールについて」が最も高く67.5%、以下、「3. 学校の部活動の活動内容について」が54.0%、「2. 学校行事の企画運営」51.4%の順である。最も低いのは、「6. 札幌市政(札幌市のまちづくりや市役所の仕事)について」の13.7%である。

小学生と中学生以上とで比較してみると、『できる』の合計で、小学生では、ほとんど差はないものの「4. 学校のきまりごとについて」が「2. 学校の行事や、進め方について」を上回っているのに対し、中学生では、「2. 学校行事の企画運営」が「4. 学校のきまりごとについて」を約5ポイント上回っている。また、順位は同じだが、「5. 地域で行われている行事などの取組について」が17.4%と、小学生の同様の問いに対する回答31.4%に対して約半分にとどまっている。